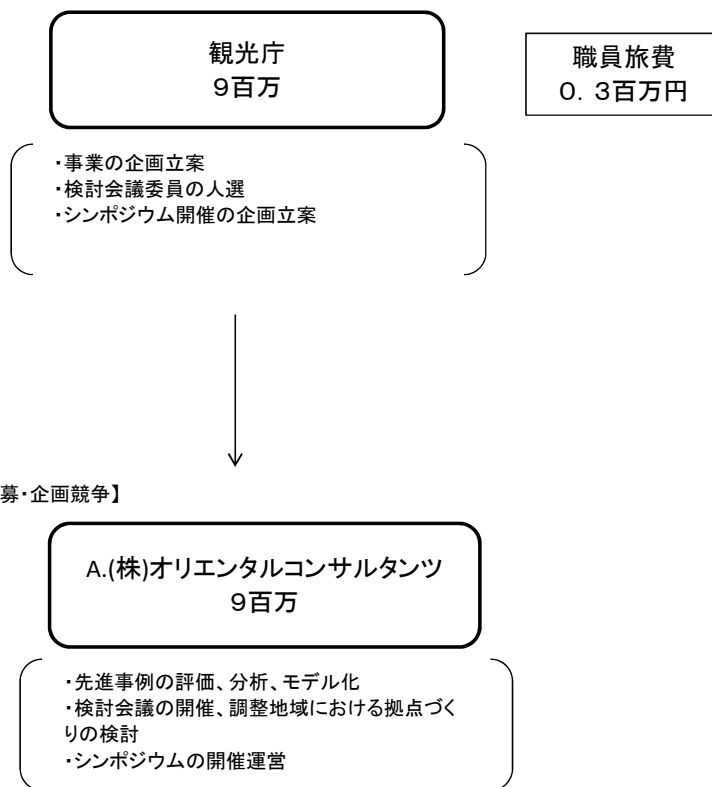


平成25年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	ユニバーサルツーリズム促進事業		担当部局庁	観光庁		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	H24～		担当課室	観光産業課		課長 石原 大		
会計区分	一般会計		政策・施策名	6 国際競争力、観光交流、広域・地域間連携等の確保・強化 20 観光立国を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	観光立国推進基本法第21条		関係する計画、通知等	観光立国推進基本計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	高齢者、障害者等の移動制約者の社会参加の拡大が望まれ、また、少子高齢化社会が進んでいるなかで、移動制約者の旅行の機会を拡大することにより、誰もが旅行に参加しやすい環境づくりを進め、国内観光旅行の促進を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	移動制約者の旅行の機会を拡大することにより、誰もが旅行に参加しやすい環境づくりを進めるため、ユニバーサルツーリズムに適した商品の認定制度の検討、協議会等による地域の受入体制強化、具体的な効用の検証やシンポジウムを通じた普及啓発等により、ユニバーサルツーリズムの普及・促進を図る。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算			9	39	40	
		繰越し等			-			
		計			9	39	40	
	執行額			9				
	執行率(%)			100				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (28年度)
	国内観光旅行による国民一人あたり年間宿泊日数		成果実績					2.5
			達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	ユニバーサルツーリズムの地域における拠点づくり、商品等の認定制度の検討、効用調査		活動実績 (当初見込み)	-	-	-	5	-
				(-)	(-)	(5)	(-)	
単位当たりコスト	39(百万円/式)		算出根拠	地域における拠点づくり、商品等の認定制度の検討、効用調査にかかる経費一式				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	467	848					
	職員旅費	449	1,120					
	委員等旅費	639	618					
	観光振興調査費	37,521	37,550					
	計	39,076	40,136					

事業所管部局による点検					
		項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	人口減少等により旅行における需要は低迷を続けており、旅行需要の喚起は旅行業界だけでなく、日本経済を活性化させる上でも重要な課題となっている。ユニバーサルツーリズムの普及・促進のためには、幅広い関係者と協力していく必要があることから、国が実施することが適当である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	調査業務を実施するためには、観光に関する知見に加え、交通バリアフリー、まちづくり、福祉サービス等の調査に関する知見や能力が必要であるため、一般競争入札ではなく、複数応募による企画競争を行っている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○		
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—	見込みに見合った調査等が行われ成果物がとりまとめられた。成果物は関係団体等に配布するとともにユニバーサルツーリズム促進のための資料として活用されている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	ユニバーサルツーリズムの先行事例をモデル化したことにより、旅行事業者と地域の支援組織や地域のサービス提供者等との連携がユニバーサルツーリズム促進の大きな課題であることを明らかにすることができた。今後、ユニバーサルツーリズムの更なる普及・促進のため地域の拠点づくりを進めることで、更なる普及促進に資するものである。				
外部有識者の所見					
本事業が目的とする移動制約者の旅行の機会の拡大が、成果目標及び成果実績(アウトカム)における成果指標に反映されていない。ユニバーサルツーリズムの普及・促進を定量的に成果指標として表すとともに、商品等の認定制度や地域における拠点づくり等の活動がこの成果指標にどの程度の効果があるのかを評価できるようにすべきではないか。					
行政事業レビュー推進チームの所見					
事業内容の改善	既に複数応募の企画競争を促すなど、一定の取組みは行っているが、より一層の予算執行効率化の観点から調達手法の改善(競争入札の導入、一社応札の抑制の取組等)を図るべき。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
執行等改善	指摘を踏まえ、ユニバーサルツーリズムにおける成果指標について今年度検討する。一社応札の抑制を図り、より一層の予算効率化に努める。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
	平成22年		平成23年		平成24年
					1049

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位:百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.(株)オリエンタルコンサルタンツ			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	調査分析	7			
事業費	検討会開催・シンポジウム開催・報告書	2			
計		9	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)オリエンタルコンサルタンツ	ユニバーサルソリューションズの先進事例の評価、分析、モデル化等	9	随意契約 (企画競争)	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					